

# 情報公開用文書

看護研究「当院における Rapid Response Team 導入前後の症例調査」へのご協力のお願い

## 1. 研究（調査）の目的と概略

当院では 2019 年から入院患者様の重症化を未然に防ぐことを目的に、RRS (Rapid Response System 以下 RRS) を導入しております。加えて、2022 年度の診療報酬改定に伴い急性期充実体制加算が新設されたことを受けて、RRT (Rapid Response Team 以下 RRT) を導入しました。本研究において、RRT 導入後の取り組みの効果や今後の課題を明らかにし、患者様の安全を守るための一助としたいと考えております。

(用語説明)

- ・RRS：患者様の病状悪化をできる限り早期に発見し、介入を行うこと。
- ・RRT：RRS が要請された時に対応を行うチームです。当院では集中治療科医師と ICU 看護師で構成されています。
- ・ブルーコール：呼吸停止等で要請される院内急変時対応システム。
- ・ラビットコール：RRT の介入を要請すること。
- ・NEWS (National Early Warning Score 以下 NEWS)：急変する前兆を察知できるスコア。

## 2. 研究（調査）の方法

- 1) ラビットコール症例の件数、患者様の背景（年齢、性別、診療科、要請した職種、要請された場所、要請理由、要請時の治療方針、RRT が患者様に接触した時の NEWS、RRT が患者様に介入した後の処置、その後の療養場所の選択、転帰）
- 2) ブルーコール症例の件数、患者様の背景（年齢、性別、診療科、要請した職種、要請された場所、要請理由、要請時の治療方針、要請する 8 時間前の患者様の NEWS、院内心停止数、その後の療養場所の選択、転帰）
- 3) 1) 2) の臨床経過に関する情報を収集します。氏名や住所は収集いたしません。

## 3. 調査期間

調査期間 令和 1 年 10 月 1 日から令和 5 年 3 月 31 日まで

4. 調査の対象となる患者様

本研究の対象となるのは、上記期間にブルーコール及びラビットコールにて介入させていただいた患者様です

5. この研究への協力は任意です

本研究は、患者様の診療記録から得られた情報のみを使用する「観察研究」と呼ばれるもので、患者様に新たな診療や検査を強いるものではありません。調査結果は、個人が特定できないように匿名化して管理し、個人情報を保護します。研究結果を当院の看護研究発表会や病院外の学術集会で発表することがございます。データのご使用をお断りになる場合は、直ちに情報の利用を停止いたしますので、ご遠慮なくお申し出ください。また、本研究への協力は任意ですので同意がいただけない場合は下記の問い合わせ先までご連絡下さい。診療に何も不利益は生じません。

6. お問い合わせ先

徳島県立中央病院 ICU

研究責任者 坂東加奈子

研究者 松本光平

〒770-8539 徳島県徳島市蔵本町1丁目 10-3

電話番号 088-631-7151 (代表) (内線: 3441)